

理念エピソード紹介

ふるいちの理念に沿って、素晴らしい活躍をしているスタッフにスポットを当てるこの企画。今回は、イオンモール高知店の「理念エピソード」をご紹介します！

Q 理念に沿った行動が見られたスタッフを教えてください。

A よこやま
横山 みきさん

Q どの理念に沿った行動をしていましたか？

A 「食業を通じ必要とされる人になり人の役に立つ」

Q 具体的なエピソードを教えてください！

A オープン後から現在まで 20 年間、当店を引っ張り支えてくれた方です。常に美味しいうどんを提供しながら、時に違う切り口でワクワクする商品を提案してくれました。例えば、四季のぶっかけシリーズの牛しぐれぶっかけは、甘辛いタレと牛肉、うどんの絡み具合が絶妙で、全店展開に至りました。その他にも店舗限定の春野菜ぶっかけ、冷しゃぶぶっかけ、ゴマラーぶっかけ等々振り返るとキリがありません。店舗では、トレーナー兼アドバイザーとして、多くのスタッフの育成に務めていただきました。皆に頼られ、尊敬される存在です。今後もぶっかけうどん伝道師として、高知県民に、また全国に広めていってください！



イオンモール高知店 店長
よこた しんぺい
横田 真平さん
にお聞きしました！



今回選ばれた横山さんにお話をうかがいました！

推薦を受けての感想

今回、「食業を通じ必要とされる人になり人の役に立つ」という理念に沿っているスタッフとして選んでいただけて、とても光栄に思います。働き始めた頃は、理念を非常に大事にしている横田店長についていくことに必死でした。しかし目標を持って働くことで、仕事にやりがいを感じるようになり、理念の意味をだんだんと理解するようになりました。お客様から感謝の言葉をいただいたときは、仕事に対するモチベーションも上がりますし、今の仕事を通じてたくさんの方に喜んでいただけるよう、さらに励みたいと思います。

「四季のぶっかけシリーズ」への関わりについて

社内コンテストでアイデアメニューを募集していたので何か応募したところ、限定メニューに選ばれたことがきっかけです。当初は想像もできませんでしたが、その限定メ

ニューが空前の大ヒットとなり、引き続き新商品を考案することになりました。例えば食べるラー油が流行った頃には、手作りのラー油にささみと水菜を和えて、ゴマダレぶっかけと絡めたピリ辛担々麺風のメニューを売り出しました。現在では、季節に応じた限定メニューとして「四季のぶっかけシリーズ」の開発に取り組んでいます。今春は、春キャベツと甘辛いタレで味付けしたお肉を組み合わせたメニューを売り出す予定です。

働く上で、大切にしている考え方

色々なことに前向きに取り組むことを大切にしています。お客様に信頼され、その期待に応えられるように、様々なことに積極的にチャレンジしたいと思います。

今後の目標

次世代の育成に積極的に取り組むことを目標としています。基本事項は変えてはいけませんが、工夫して手際よく作業する方法など、20 年近く働いた経験から身についたことも含め、今まで教わってきたことを忠実に若いスタッフに伝えたいと思います。

委員会 紹介

顧客満足委員会

今回は、顧客満足委員会の委員長である田中さんに、活動内容や、メンバーとの思い出をお伺いしました！



イオンモール高知店 チーフ
たなか みつる
田中 充さん
にご紹介いただきました！

思い出

みなさんと接客マニュアル動画を作成したことです。実際に、メンバーがお客さん役やスタッフ役になりきって動画を作成しました。動画を編集してくれたスタッフもいて、みんなで協力して作り上げたという思い出です。これから来てくださる新人の方への反響が楽しみです。

委員会の自慢

主に接客マニュアルを作成していますが、新人向けのマニュアルはとくに力をいれて作成しているという点が自慢です。誰が見ても同じ認識になるような、わかりやすいマニュアルになるように工夫しています。

活動内容

まずは、お店におけるスタッフの接客マニュアルの作成です。次に、ふるいちのお客様における満足要因を考えて、マニュアルを更新することです。お客様にもそれぞれの困りごとがあると考え、それらを解消できるように工夫したいと思っています。



活動メンバー



石原マネージャー、大原サブマネージャー、渡辺さん、横井さん、堤さんと私の6名です。

注目のメンバー

イオンモール岡山店
よこい しの
横井 詩乃さん



注目の理由 考え方がしっかりしているため、とても頼りになる存在です。他の方への仕事の教え方も丁寧ですし、人当たりがよく親しみやすいという印象です。今後も店舗を支えてくださる、重要なメンバーの1人です！

今後の展望

まずは、接客動画とマニュアルを作成し、それを各店舗に配っていくことが目標です。今後それをどのように活用していくか、さらに考えを深めていきたいと思っています。